

2. 調査票及び単純集計結果

平成 21 年度 環境にやさしいライフスタイル実態調査

○回答いただくに当たって

1. 各質問の回答は、指示に従い、当てはまる数字をチェックするか、数字や文章を記入してください。
2. 調査結果は、政府及び地方公共団体の環境行政の推進に活用し、その他の目的には使用いたしません。また、活用に当たっては、統計的に処理するため、個人の情報が外部に漏れることはございません。
なお、「環境基本計画」に関する情報については、環境省ホームページ (http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/index.html) に掲載しております。ご関心がある方は是非ご覧ください。
3. 調査の結果は、平成 22 年夏頃、公表予定です。
環境省ホームページ (http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/lifestyle.html) に掲載しますので、ご覧ください。

1. 環境問題に関する意識について

問 1-1 あなたは、近年の環境の状況についてはどのような実感をお持ちでしょうか。

(1)地域レベル、(2)国レベル、(3)地球レベルで、あなたの気持ちに最も近いところに○をつけてください。(1)～(3) それぞれ○は一つ)

		よ く な っ て い る	や よ く な っ て い る	変 わ ら な い	や や 悪 化 し て い る	悪 化 し て い る	わ か ら な い
(1) 地域レベル (あなたの住まいとその周辺、地方公共団体でみて)	→	3.5	21.5	47.3	17.6	6.3	3.8
(2) 国レベル (日本全体でみて)	→	1.3	16.9	27.3	34.1	16.9	3.5
(3) 地球レベル (世界全体でみて)	→	0.6	5.3	17.3	31.6	40.4	4.8

問 1-2 (上の問 1-1 (1)～(3) で 4 又は 5 に○をつけた方にお聞きします。)

上の問 1-1 (1)～(3) それぞれについて、そのように実感する理由として当てはまるものに○をつけてください。(1)～(3) それぞれ○はいくつでも)

	(1) 地 域 レ ベ ル	(2) 国 レ ベ ル	(3) 地 球 レ ベ ル
	↓	↓	↓
1 地球温暖化が進んでいるから	31.7	53.4	86.9
2 オゾン層の破壊が進んでいるから	7.9	21.8	67.7
3 酸性雨による被害が広がっているから	9.2	21.0	45.4
4 黄砂による被害が広がっているから	22.0	38.0	44.3
5 海洋の汚染が進んでいるから	14.1	36.9	56.0
6 森林が減少しているから	18.6	40.9	71.0
7 砂漠化が進んでいるから	5.2	11.3	66.8
8 大気汚染が進んでいるから	20.4	37.5	58.3
9 騒音・振動による被害が広がっているから	31.7	28.3	13.3
10 悪臭による被害が広がっているから	17.8	14.8	11.1
11 都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象が増加しているから	27.7	63.1	35.1
12 水質汚濁が進んでいるから	22.8	30.3	32.1
13 土壌汚染が進んでいるから	16.5	27.6	28.3
14 地盤沈下が進んでいるから	13.9	27.0	20.3
15 廃棄物などの発生量が増加しているから	36.4	51.5	36.9
16 不法投棄など廃棄物の不適正な処理が増加しているから	37.7	52.3	29.4
17 廃棄物などの最終処分場がひっ迫しているから	26.2	47.3	22.5
18 ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染が進んでいるから	14.1	35.5	32.6
19 内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の生物への影響が広がっているから	11.0	28.4	32.4
20 原生林や湿地帯などといった手つかずの自然が減少しているから	12.6	28.8	57.9
21 人々の生活の身近にある自然が減少しているから	47.6	47.1	40.2
22 野生生物や希少な動植物が減少あるいは絶滅しているから	15.4	35.3	60.3
23 その他	8.4	2.9	3.1

問 1-3 あなたは、現在どのような環境問題に関心がありますか。

次のなかで、関心のある環境問題を選び○をつけてください。(○はいくつでも)

1	地球温暖化	79.2
2	オゾン層の破壊	42.6
3	酸性雨	26.2
4	黄砂	30.0
5	海洋の汚染	36.8
6	森林の減少	47.4
7	砂漠化	31.4
8	大気汚染	39.8
9	騒音・振動	15.6
10	悪臭	10.4
11	都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象	36.4
12	水質汚濁	29.3
13	土壌汚染	22.3
14	地盤沈下	14.1
15	廃棄物などの発生量増加	33.5
16	不法投棄など廃棄物の不適正な処理	36.6
17	廃棄物などの最終処分場のひっ迫	23.6
18	ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染	26.4
19	内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の生物への影響	23.6
20	原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少	31.1
21	人々の生活の身近にある自然の減少	34.7
22	野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	38.4
23	その他(具体的に)	2.0

2. 環境問題に対する取組に関する意識について

問 2-1 環境問題に対して以下のような考えや意見があります。

「大変そう思う」から「全くそうは思わない」までの4段階で、あなたの考えや意見に最も近いものに○をつけてください。(それぞれ一つずつ○)

		大変そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそうは思わない
1	環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる。	→ 16.6	55.2	26.3	1.9
2	日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている。	→ 46.2	47.4	5.8	0.6
3	大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である。	→ 49.9	43.3	6.2	0.7
4	環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である。	→ 32.6	58.9	7.6	0.9
5	地域の人たちが協力して、その地域の環境保全活動に取り組むことは地域コミュニティの活性化にもつながるので重要である	→ 28.2	59.9	10.8	1.2
6	大人にも子どもにも、環境保全について理解を深めるための環境教育や環境学習は重要である。	→ 45.6	48.8	5.0	0.6
7	環境に関わる情報を分かりやすく、効率的・効果的に提供することは重要である。	→ 41.1	53.2	5.3	0.4
8	我が国が、国際社会において環境面からの積極的な寄与・参加を行うことは重要である。	→ 36.4	52.8	9.1	1.8
9	行政が環境保全に関する施策を進めるに当たっては、施策を考える段階から、国民も積極的に参加できるようにする必要がある	→ 35.2	55.0	8.9	0.9

問 2-2 あなたは、今後、以下にあげるようなことを行おうと思いますか。

当てはまるものに○をつけてください。(それぞれ一つずつ○)

		行 す で い た い と 思 う	行 す で い た い と は 思 わ な い	後 こ れ は 行 い た い と 思 う	も こ れ ま で い た い と は 思 わ な い	当 て は ま ら な い
1	日常生活において節電等の省エネに努める	→ 84.8	3.9	9.3	2.0	—
2	日常生活においてできるだけごみを出さないようにする	→ 74.2	5.1	17.3	3.4	—
3	不用品をバザー、フリーマーケット、ガレージセール等のリユース、リサイクルにまわす	→ 41.8	7.1	39.1	12.1	—
4	ごみは地域のルールに従ってきちんと分別して出すように	→ 90.8	4.4	3.5	1.3	—
5	運転の際には、不必要なアイドリングや空ぶかし、急発進はしない（現在、自動車の運転をしておらず、今後も運転する予定がない場合は「5」に○）	→ 59.1	2.8	11.1	2.1	25.0
6	日常生活において節水に努める	→ 80.4	4.7	12.3	2.6	—
7	油や食べかすなどを排水口から流さない	→ 78.3	4.8	14.5	2.4	—
8	買い物の時は、製品に含まれる化学物質を成分表示で確認して選んでいる	→ 38.3	5.0	42.4	14.4	—
9	自然環境を保全する観点から、皮革製品を購入する際に希少な野生生物の皮革製品かどうかを考慮したり、有機農産物や間伐材を使用した製品を購入したりする	→ 24.8	5.9	50.2	19.2	—
10	物・サービスを購入するときは環境への影響を考慮してから選択する	→ 31.3	6.0	50.8	11.9	—
11	地域における環境保全のための取組に参加する（緑化、美化、自然保護、リサイクル、省エネ、地域の計画策定等）	→ 26.3	5.6	51.7	16.4	—
12	体験型（※）の環境教育・環境学習活動に参加する	→ 9.1	5.7	52.6	32.6	—
13	講習会等で得た環境保全に関することを実践する	→ 13.4	5.3	56.0	25.3	—
14	環境に対してよいと思うことを知人や友人に伝えたり広めたりする	→ 19.9	5.4	50.7	23.9	—

（※）体験型の環境教育・環境学習活動とは、たとえば、自然観察会や水質調査、河川・砂浜・地域の美化・清掃活動、植林活動など、環境やその問題に関する体験活動や調査活動などの具体的な実践をいいます。なお、講習や勉強会などの座学のみのは含みません。

問 2-3 環境を守る上で最も重要な役割を担っているのは、この中のどれだと思いますか。(○は一つ)

1 国民	47.4
2 事業者(企業・産業界)	17.9
3 民間団体(地域団体や環境団体)	1.3
4 地方公共団体(県や市町村)	3.9
5 国(政府)	25.4
6 その他(具体的に:	1.4
7 わからない	2.8

問 2-4 自然とのふれあいについてお伺いします。

(1) エコツーリズムという言葉をごどの程度知っていますか。

1 意味を知っている	21.5
2 聞いたことはあるが意味は知らない	47.1
3 聞いたことがない	31.4

(2) あなたは、自然とのふれあいについてどう思っていますか。(○は一つ)

1 自然とのふれあいを今より大幅に増やしたい	20.9
2 自然とのふれあいを今より多少増やしたい	40.3
3 今と同程度の自然とのふれあいを維持したい	34.3
4 自然とのふれあいが今より多少減ってもかまわない	1.8
5 自然とのふれあいを特に必要だとは思わない	2.7

(3) あなたは、自然とのふれあいを増やすために何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 身近に整備された自然とふれあうための場所	46.8
2 自然環境の保全・育成	61.8
3 自然とふれあうための行事や催し物	29.1
4 自然とふれあうためのビジターセンター(利用案内館)などの施設	12.3
5 自然環境にかかわるボランティアの機会	18.7
6 環境教育・環境学習等の機会	23.8
7 自然とのふれあいをテーマに企画されたツアーやパック旅行	21.8
8 自然に関する情報の提供	38.8

(4) あなたが過去1年間にされた旅行は、何を求めての旅行だったと思いますか。

(○はいくつでも)

1 自然に浸り、その美しさを愛でる旅行	27.4
2 自然の成り立ち、動植物の生態に理解を深める旅行	6.4
3 動植物の観察旅行	7.3
4 山登りなどアウトドア活動の旅行	11.1
5 キャンプなど野外生活を体験する旅行	7.1
6 自然に囲まれや旅館やホテルでゆったり滞在する旅行	30.2
7 自然とともに、その地域の歴史や風土を学ぶことを目的とした旅行	20.2
8 上のような旅行はどれもしていない	40.9

(5) あなたは今後、(4)の1~7にあげたような旅行にどの程度行こうと思いますか。(○は一つ)

1 今よりも多く行きたい	42.2
2 今と同じ程度でいいと思う	54.9
3 今よりも少なくしたい	2.9

問 2-5 環境に配慮した製品についてお伺いします。

- (1) あなたやあなたのご家族は、①省エネ型家電（※1）、②環境配慮型自動車（※2）、③高効率給湯器（※3）、④太陽光発電システムの購入を検討したり、興味を持ったりしたことはありますか。①～④について、それぞれ当てはまるもの一つに○をつけてください。

	① 省 エ ネ 型 家 電	② 環 境 配 慮 型 自 動 車	③ 高 効 率 給 湯 器	④ 太 陽 光 発 電 シ ス テ ム
	↓	↓	↓	↓
1 すでにそのような製品を購入済み、または発注済みであり、環境面で興味を持っている	25.8	10.3	10.0	5.6
2 すでにそのような製品を購入済み、または発注済みであるが、特に環境面で興味があるわけではない	7.0	2.6	1.9	1.3
3 家電製品や自動車、給湯器を購入する際には、そのような製品を検討の対象に入れようと思っている	47.9	41.4	36.4	-
4 興味はあるが購入の検討対象にはならない	4.3	9.3	13.4	74.8
5 そのような製品にあまり興味がない	0.7	1.6	1.8	6.8
6 そのような製品があることを知らなかった	0.0	0.1	1.5	1.0
7 家電製品や自動車、給湯器の購入・買い替えの予定がない	12.4	18.6	25.8	-
8 家電製品や自動車、給湯器を利用していない	0.4	14.0	5.7	-
9 わからない	1.6	2.1	3.5	10.6

(※1) 省エネ型家電とは、エコポイント対象のテレビ、エアコン、冷蔵庫が該当します。

(※2) 環境配慮型自動車とは、電気自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車、ハイブリッド自動車、燃料電池自動車、低燃費かつ低排出認定車（エコカー減税対象車（平成 17 年基準値 75%以上低減（ラベル 4 ☆）かつ燃費基準+15%以上）などの低公害車）が該当します。

(※3) 高効率給湯器とは、エコキュート、エコウィル、エネファーム等のガスエンジン給湯器、潜熱回収型給湯器、CO2 冷媒ヒートポンプ給湯器又は家庭用燃料電池が該当します。

- (2) ①家電製品（テレビ、エアコン、冷蔵庫）、②自動車、③給湯器、④太陽光発電システムを
購入する際に、どのようなことを重視して購入を検討しますか。①～④のそれぞれについて、
重視する順番に番号をつけてください。

①家電製品（テレビ、エアコン、冷蔵庫）

	1位	2位	3位	4位	5位
	↓	↓	↓	↓	↓
1 製品の品質・性能	44.9	25.6	14.4	12.3	2.7
2 製品のデザイン	2.3	9.7	20.1	20.1	47.8
3 製品の購入価格	39.6	33.4	16.9	7.1	2.9
4 製品利用に必要なランニングコスト	5.9	20.3	29.4	30.4	14.0
5 製品の環境負荷（省エネ性能・低公害性能等）	7.2	10.9	19.1	30.1	32.6

②自動車

	1位	2位	3位	4位	5位
	↓	↓	↓	↓	↓
1 製品の品質・性能	32.9	25.4	21.3	14.9	5.4
2 製品のデザイン	12.6	18.5	19.6	17.6	31.7
3 製品の購入価格	40.9	25.8	21.9	7.8	3.6
4 製品利用に必要なランニングコスト	5.6	20.4	23.0	33.8	17.2
5 製品の環境負荷（省エネ性能・低公害性能等）	7.9	9.9	14.3	25.9	42.1

③給湯器

	1位	2位	3位	4位	5位
	↓	↓	↓	↓	↓
1 製品の品質・性能	35.4	22.2	21.1	18.4	2.9
2 製品のデザイン	1.1	5.4	9.1	17.0	67.4
3 製品の購入価格	41.6	30.2	17.1	9.3	1.9
4 製品利用に必要なランニングコスト	12.4	31.3	30.7	19.6	6.1
5 製品の環境負荷（省エネ性能・低公害性能等）	9.5	10.9	22.1	35.8	21.7

④太陽光発電システム

	1位	2位	3位	4位	5位
	↓	↓	↓	↓	↓
1 製品の品質・性能	29.5	23.3	22.5	21.3	3.4
2 製品のデザイン	1.1	4.3	7.5	16.3	70.9
3 製品の購入価格	50.1	26.3	14.9	7.1	1.6
4 製品利用に必要なランニングコスト	10.1	34.8	30.7	19.3	5.2
5 製品の環境負荷（省エネ性能・低公害性能等）	9.3	11.3	24.4	36.1	19.0

- (3) 環境に配慮した製品の購入・利用にあたって行政に望む支援についてお伺いします。
- ①省エネ家電、②環境配慮型自動車、③高効率給湯器、④太陽光発電システムを購入する際に、どのような支援があるとよいと思いますか。あるとよいと思うものすべてに○をつけてください。

	①省エネ家電	②環境配慮型自動車	③高効率給湯器	④太陽光発電システム
	↓	↓	↓	↓
1 補助金（エコポイントなど）	74.1	74.4	78.6	84.9
2 税金の減免	62.7	76.5	64.6	72.7
3 リサイクル料金の行政による負担	64.4	53.2	-	-
4 製品の製造時の環境負荷に関する情報の開示	16.8	15.4	18.1	18.5
5 製品の使用時の環境負荷に関する情報の開示	26.1	24.9	26.4	28.0
6 製品の処分時の環境負荷に関する情報の開示	22.1	18.8	17.7	18.5
7 特に支援はらない	4.9	6.7	9.0	6.0

3. 環境情報に関する意識について

問 3-1 以下のような環境問題に関する情報の量や質について、あなたはどの程度満足していますか。
(それぞれ一つずつ○)

		十分満足している	まあ満足している	あまり満足していない	ほとんど満足していない	そもそも関心がない	わからない
1 地域環境の情報	→	1.1	24.1	44.8	17.6	4.3	8.3
2 地球環境問題の情報	→	0.9	25.4	45.3	17.7	3.6	7.1
3 環境問題が生活に及ぼす影響	→	1.4	22.8	44.8	21.3	2.9	6.8
4 日常生活が環境に及ぼす影響	→	1.4	23.3	44.8	20.1	3.2	7.3
5 開発事業が周辺環境に及ぼす影響	→	0.9	12.3	36.9	37.4	4.2	8.4
6 環境問題に対する国や地方公共団体の政策	→	0.5	12.6	40.6	33.7	4.4	8.1
7 企業の環境保全に関する取組状況	→	0.8	14.6	41.2	26.6	6.1	10.6
8 企業の事業活動に伴う環境汚染物質、廃棄物などの環境の負荷に関する情報	→	0.9	10.6	37.1	34.8	5.9	10.6
9 世界的な環境保全の動き	→	0.9	12.8	39.3	32.9	4.6	9.5
10 暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動	→	1.4	25.1	45.1	17.9	3.3	7.3
11 購入する製品・サービスの環境負荷に関する情報	→	0.9	22.7	45.2	19.3	4.0	8.0
12 環境問題に困った場合の地方公共団体等の相談窓口に関する情報	→	0.9	11.7	37.7	29.1	7.3	13.4
13 環境保護団体の情報	→	0.7	10.6	38.1	24.4	12.4	13.9
14 展示会・講演会・セミナーなどの案内	→	0.8	12.0	35.1	20.9	17.0	14.2
15 自然とふれあうための施設やイベントについての情報	→	0.9	13.9	40.0	22.1	11.2	11.9

4. 環境行政に関する意識について

問 4-1 あなたは、国が行っている環境行政について、どの程度満足していますか。(○は一つ)

1 満足している	0.4
2 まあ満足している	8.0
3 どちらともいえない	38.5
4 あまり満足していない	36.5
5 全く満足していない	11.1
6 わからない	5.4

問 4-2 あなたは、市町村や都道府県が行っている環境行政について、どの程度満足していますか。
(○は一つ)

1 満足している	0.5
2 まあ満足している	10.7
3 どちらともいえない	37.6
4 あまり満足していない	34.2
5 全く満足していない	10.4
6 わからない	6.6

問 4-3 (上の問 4-1 で 4 又は 5 に○をつけた方にお聞きします。)

あなたは、国が行っている環境行政に対して、今後、何を求めますか。当てはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 法律等による環境保全対策制度の強化	49.2
2 地球温暖化防止、循環型社会形成等に関する計画の進行管理の徹底	57.9
3 温室効果ガス排出量等の数値目標の厳格化	35.6
4 事業者が行う環境保全の取組に対する支援	45.3
5 国民・NPOが行う環境保全の取組に対する支援	34.0
6 環境保全活動における事業者、国民、NPO等多様な主体による連携・協働の促進	24.9
7 環境税等のグリーン税制の導入	32.8
8 商品の省エネ度等の環境に関する情報提供	37.8
9 環境教育や普及啓発の推進	34.5
10 環境技術の研究開発力強化に向けた取組推進	33.9
11 公害被害者の救済に向けた取組推進	26.5
12 開発途上国に対する国際協力等の取組推進	28.3
13 地球温暖化等に関する国際交渉におけるリーダーシップの発揮	33.5
14 その他	5.1

問 4-4 (上の問 4-2 で 4 又は 5 に○をつけた方にお聞きします。)

あなたは、市町村や都道府県が行っている環境行政に対して、今後、何を求めますか。当てはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 条例等による環境保全対策制度の強化	52.5
2 地球温暖化防止、循環型社会形成等に関する計画の進行管理の徹底	42.9
3 温室効果ガス排出量等の数値目標の厳格化	27.9
4 事業者が行う環境保全の取組に対する支援	43.6
5 住民・NPOが行う環境保全の取組に対する支援	40.6
6 環境保全活動における事業者、住民、NPO等多様な主体による連携・協働の促進	30.0
7 環境税等のグリーン税制の導入	26.3
8 商品の省エネ度等の環境に関する情報提供	29.1
9 環境教育や普及啓発の推進	41.5
10 環境技術の研究開発力強化に向けた取組推進	25.5
11 公害被害者の救済に向けた取組推進	22.3
12 開発途上国に対する国際協力等の取組推進	10.2
13 その他	3.9

5. あなた自身についてお答えください。(それぞれ一つずつ○)

F-1. 性別

1 男性	50.0
2 女性	50.0

F-2. 年齢 あなたは満何歳ですか。

1 20代	13.8
2 30代	17.5
3 40代	15.8
4 50代	15.9
5 60代	17.2
6 70代以上	19.9

F-3. 職業 あなたのご職業は何ですか。

1. 農林漁業の自営・家族従業者	0.9
2. 商工販売サービス業の自営・家族従業者	4.6
3. 自由業(医師、弁護士、著述業等の個人事業者)	3.4
4. 2以外の会社役員・会社経営	2.6
5. 会社員	26.7
6. 公務員	3.3
7. 団体職員	1.4
8. 学生	3.5
9. パート・アルバイト	10.1
10. 専業主婦	21.9
11. 無職	18.1
12. その他	3.4

F-4. 居住地区 現在あなたの住んでいるところはどのような地区ですか。

1 住宅の多い地区	81.7
2 商店その他の事務所の多い地区	5.8
3 工場の多い地区	1.7
4 農山漁村地区	8.8
5 その他	2.0

F-5 居住地域 現在あなたの住んでいる地域はどこですか。

1 北海道・東北(北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県)	11.9
2 関東(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県)	41.3
3 北陸(新潟県・富山県・石川県・福井県)	3.8
4 中部(山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)	13.3
5 近畿(滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)	16.7
6 中国・四国(鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県)	6.7
7 九州・沖縄(福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県)	6.3

F-6 都市規模 あなたの住んでいる市区町村の都市規模について教えてください。

1 政令指定都市	20.1
2 10万人以上の市、東京23区	50.0
3 10万人未満の市	19.9
4 町村	10.1